

環境教育 「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



職場で同僚の机に前触れもなく近づき、雑談や仕事の相談をする。欧米では最近、これは迷惑だとして「エフ爆弾」と称する奇妙な造語が広がっているのか、愛（愛）話しかける側が配慮を欠いているのか、愛（愛）ける側に見えなさがないのか。事情は様々だろうが、入り交ぜ合いの変化がちなこととした話題に至っているらしい。職場での雑談は、コミュニケーションの潤滑油とも言われてきた。テレワークが広がるなか、同僚との何げない会話の効用が見直されてる。コロナ禍での働き方を研究する大学の教授によると、職場にはテレワーク



では得られない「無形の報酬がある」とか、あいつや感謝雑談がそれだぞと感嘆して、阿部同士の又しつくりと顔を合わせろ。



さて目に見えない報酬はどんな話題に始まるだろう。日シアウク、ミナ清正、しく戦争存んか、やえる場合か、トルコの地獄での命。

山左、甲子園、(中) 写真屋、名古屋、倉庫、倉庫所と、白川公園、(下) 右側、上宮寺、圧倒、富士の、創価学会、大石、今はない。

